



善前小だより

No.4 令和元年7月号

7月1日 発行

住所 南区太田窪2500番地1

電話 882-7871 FAX 811-1329

ホームページ <http://zenmae-e.saitama-city.ed.jp>

「善力前進」ともに伸びよう 善前小 ～はずむ心 きたえる体 学ぼう創ろう「みどりの学園」～

豊かな 学びを！

校長 小田切 倫子

7月です。1学期の最終月です。なんとなく気忙しく月日が流れたようにも感じますが、4月に入学した1年生も、学校生活がすっかり板に付き、着実に力を伸ばしています。

先日、6年生の校外学習の引率で、国会議事堂と科学技術館へ行ってきました。タイミングがよかったのか、どちらも混雑することなく、ゆっくりと見学することができました。国会議事堂では、久しぶりに参議院議場の傍聴席に座りながら、議事堂の方の説明を聞くことができました。科学技術館でもほとんど待つことなく、展示物を触ったり動かしたりしながら、様々な科学や技術に存分に触れてくることができました。

国会議事堂での「参議院特別体験プログラム学習」も、本校1校のみでの体験学習となり、特に印象に残る活動となりました。内容は、『身体障害者補助犬法』を成立させるまでの流れを体験的に学ぶものです。この法律は、平成15年に施行された実際にある法です。児童一人ひとりが大臣や議長、国会議員となって、法の目的や適用の範囲などを審査し、最後には投票ボタンを押して法案を可決させるという流れでした。大臣や議長等の発言内容は、予め決められているものですが、子どもたちの堂々とした態度がとても頼もしく、我が校の子どもたちながら、ほれぼれとして見ていました。もしかしたら、将来、本当に国会という場で議論する人になるかもしれません。『身体障害者補助犬法』設立の体験学習をきっかけに、補助犬のトレーナーになりたいと思う子どもがいるかもしれません。補助犬について広く知らせるためのマークがありますが、そのようなデザインをする人になるかもしれません。補助犬に優しいより使いやすいハーネスを作る人になるかもしれません。人間の身体の状況や感情等を心拍などから分析し、補助犬に伝えるような技術を開発する人になるかもしれません。さらに思いは広がります。科学技術館には“建設”にまつわる展示があったのですが、それらに触れながら建設に関心をもち、災害に強い建物を造る建築家を目指す子どもがいるかもしれません。工作や実験をしてくれるスタッフがいたので、そういう形で子どもに関わる仕事がしたいと思う人がいるかもしれません。貸し切りバスでの移動でしたので、バスの運転手やガイドさんに憧れた人もいるかもしれません。そんな、子どもたちの将来の姿に思いを馳せながらの引率となりました。

来年度より全面実施となる新学習指導要領においても、キャリア教育が重視されました。「キャリア教育」と聞くと、何か“職業についての学習”と思われがちなのですが、文部科学省では「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義づけています。職業的（進路）発達にかかわる諸能力として、自分や他者の個性を理解しそれを認め合う「自他の理解能力」や「コミュニケーション能力」、生活や仕事上における役割や意義について理解する「役割把握・認識能力」、目標とすべき将来の生き方を実現するための計画を立てて実行する「計画実行能力」などが挙げられています。子どもたちは日々、様々な活動を通して、これらの力を育てています。

さあ、今年は38日間の夏休みです。普段とは違う生活の中から、たくさんを感じ、学び、『生きる力』を高めて欲しいと思います。ご家庭や地域での見守りを、どうぞよろしくお願いします。